

2020年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 目的及び事業

・学校法人恵済学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、真摯に生命の尊厳を受け止め、医療及び福祉に貢献できる人材・社会人として責任のある人材を育成することを目的とする。

2. 学校法人の沿革

昭和46年3月 臨床検査技師学校養成所指定規則（省令第3号）による厚生大臣（現厚生労働大臣）の指定を受け開校。
（1学年40名定員）

昭和50年4月 1学級増の許可を受け、1学年2学級で定員80名とする

昭和53年3月 学校教育法(昭和22年法律第26号)第82条の8第1項の規定に合致し、専修学校となる

昭和61年3月 私立学校法(昭和24年法律第270号)第64条第5項の規定により、学校法人となる
学校教育法(昭和22年法律第26号)第82条の8第1項の規定により、東武医学技術専門学校の設置者変更認可

昭和62年3月 医療情報科を新設認可

平成5年4月 医療情報科を医療秘書科に名称変更

平成9年4月 医療秘書科を医療ビジネス科に名称変更

平成22年4月 医療ビジネス科の休校（募集停止～廃科）

平成24年3月 国際医療教養科を新設認可

平成27年3月 国際医療教養科を募集停止～廃科

令和2年3月 （福）元気村から「関東福祉専門学校」を移管譲受。設置者変更認可

3. 役員の概要

・理事長：頓所 澄江

2021年3月31日現在

役員	職名	定数	現員数
	理事	9	9
	監事	2	2
	評議員	19	19

4. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会（4回開催）

- ① 2020年5月27日（水）
・議案6件、報告2件
- ② 2020年8月27日（木）
・議案4件、報告1件
- ③ 2020年12月21日（月）
・議案1件、報告1件
- ④ 2021年3月26日（金）
・議案6件、報告3件

(2) 評議員会（4回開催）

- ① 2020年5月27日（水）
・議案5件、報告2件
- ② 2020年8月27日（木）
・議案3件
- ③ 2020年12月21日（月）
・議案1件、報告1件
- ④ 2021年3月26日（金）
・議案5件、報告3件

5. 学校・学科等の学生数の状況

東武医学技術専門学校

- (1) 所在地：埼玉県さいたま市岩槻区飯塚 50 番地
 (2) 分野、課程、学科：医療、専門課程、臨床検査科
 (3) 修業年限 3年
 (4) 入学者 2020年4月 57名
 卒業生 2021年3月 52名
 (5) 学生定員・現員

2021年3月31日現在

学年	定員	現員	差異	備考
第1学年	80	53	△27	
第2学年	80	56	△24	
第3学年	80	60	△20	
合計	240	169	△71	

(6) 学納金について

項目	金額(年額)	備考
入学金	200,000	
授業料	600,000	
施設維持費	240,000	
実験実習費	320,000	
合計	1,360,000	

(7) 教職員数

学校長	教員		職員		合計		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	計
1	9	31	6	4	15	35	50

(8) 教育目標

医療に関する知識と技能を修得し、併せて情緒豊かな人間性を養い、社会に有用な人材を育成すること。

(9) 臨床検査科の理念

日々進歩する医療の中で、臨床検査を実践するために必要な広い医学知識とその知識に裏付けされた確かな技術を修得し、医療の担い手として、確固たる責任感と使命感を有する医療人の育成を行うことを学科の理念とする。

(10) 3つのポリシー

① アドミッションポリシー（入学受け入れの方針・求める学生像）

本校の教育目標と理念のもと、次のような人々を受け入れる。

- i 医療における臨床検査技師の意義や役割を理解し、臨床検査技師になることを熱望する者。
- ii 将来の医療を担うものとして、責任感や使命感を持ち、自己分析を通して望まれる医療人となることができる者。
- iii 医療の現場に求められるマナーやコミュニケーションを認識し、その能力を育むことができる者。
- iv 医学に高い関心を持ち、探求心旺盛で自ら積極的に勉学に励むことができる者。

② カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

全ての学生がデュプロマポリシーに掲げた学習成果を修得できるよう、次の考え方に基づきカリキュラムを編成する。

- i 「臨床検査技師学校養成所指定規則」及び「臨床検査技師養成所指導要領」に従い、臨床検査技師国家試験受験資格を得るために必要な知識と技術が修得できる科目を順次性の

ある体系的な教育課程に編成する。

- ii 豊かな思考力や判断力、自己表現力を養うために、討論やプレゼンテーションなどの授業を行う。
 - iii 問題解決能力を養うために、主体的に考え、行動できるよう豊富な実習時間を設ける。
 - iv 本校で培った知識を深め、臨床検査技師に対する職務や責務の自覚を養うため、臨地実習を行う。
 - v 自己の適性を把握し、自己実現に向けたキャリア支援を行う。
 - vi 社会人として必要な態度、習慣を身につけるための課外活動を行う。
- ③ ディプロマポリシー（卒業認定・称号授与の方針）
本学学則に定めた所定の単位を修得し、下記の学習成果を収めたものに「専門士」の称号を授与する。
- i 臨床検査技師として必要な専門的知識と技能を備えている。
 - ii 医療人として高い倫理観に基づいて判断し行動することができる。
 - iii 自ら学び続ける基礎的能力を身につけており、獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、臨床検査を実施する中で直面する様々な課題を解決することができる。
 - iv 医療分野や社会において、他社との協調や協働の意義や役割を理解し、多様な人々とのコミュニケーションを図りながら連携することができる。

2. 関東福祉専門学校

- (1) 所在地： 埼玉県鴻巣市中央 23 番 10 号
- (2) 分野、課程、学科： 教育・社会福祉、専門課程、介護福祉科
- (3) 修業年限 2 年
- (4) 入学者 2020 年 4 月 29 名
卒業生 2021 年 3 月 44 名
- (5) 学生定員・現員

2021 年 3 月 31 日現在

学年	定員	現員	差異	備考
第 1 学年	80	22	△58	
第 2 学年	80	44	△36	
合計	160	66	△94	

(6) 学納金について

項目	金額 (年額)	備考
入学金	180,000	
授業料	580,000	
施設維持費	120,000	
実験実習費	100,000	
合計	980,000	

(7) 教職員数

学校長	教員		職員		合計		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	計
1	5	7	3	0	8	7	15

(8) 教育目標

介護福祉の領域に関して、広く知識と技能を習得して、その分野の専門的職業家を目指し、併せて豊かな人間性を養い、社会に有用な人材を育成すること。

(9) 教育の理念

- ① 人間性重視の教育の徹底。

- ② 医療・福祉領域から信頼される実践教育及び協調性のある人材の育成。
- ③ 地域から指示される規律ある教育及び指導。
- ④ 国際的視野で活動できる人材の育成。
- ⑤ 学生の卒業後教育体制の確立。

II. 事業の概要

1. 主な事業計画及びその進捗状況

(1) 学生確保対策

・2校とも確実な定員確保に努める。東武医学においては、臨床検査技師の認知度アップ対策が重要課題であり、関東福祉においては、介護福祉士の業務の実態の十分な理解を求め、引き続き学校訪問及び体験入学など学生募集、広報活動の強化に努める。例年実施している「体験入学・学校説明会」(オープンキャンパス)は、5月から実施し、年間13~15回開催することを計画。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に対面での体験入学及びオープンキャンパスは両校ともに実施できない回が多くなった。その対応として、バーチャル体験入学や遠隔での相談、SNSを利用した積極的情報発信を実施。

介護福祉士を目指す方へは、一般的な日本学生支援機構等の公的奨学金だけでなく「介護福祉養成施設等修学資金貸付制度」の利用などを積極的に取り入れるとした計画を行い、留学生等も含め学ぶ機会の提案を行っている。

現在、関東福祉専門学校では、留学生の比率が高くなっており、文部科学省の「専修学校グローバル推進支援事業—専門学校留学生の戦略的受入推進事業」などにより、外国人留学生に依存する傾向が強くなっている。しかしながら、外国人留学生への教育は、本来の介護福祉士教育よりも日本語能力のレベルを高める教育が必要となり、これが現在の介護士養成施設としての大きな課題となっている。その状況に対応すべく学校長をはじめ外国人留学生に対する日本語教育の強化を強化し、日本語能力習得向上につなげている。

(2) 学生管理体制

近年における外国人留学生の在籍管理については、大きな社会問題となっているが、関東福祉専門学校においては、学生指導、在籍管理に関して入学時から適切な指導を行うため留学生担当者を配置、教職員の多くが入管手続き対応できる研修を修了した。

(3) 東武医学技術専門学校

① 入学定員の確保

新型コロナウイルス感染拡大等ある中で、対面による広報活動を縮小せざるを得なかったため、Instagram、YouTube、LINEなどのSNSによる情報発信(臨床検査技師や本校の紹介など)やオンラインでの相談会に力を入れた。

結果2020年度入学生は57名とであった状況を踏まえ、広報活動に尽力した結果、前年度入学者を上回る2021年度入学生は66名を予定。入学試験においては、合格者数で定員確保するも、大学の繰り上げ合格に伴う欠員により定員割り込むこととなった。

② 教育活動・学修成果

国家試験の合格率は2020年度、新卒者については96.2%、既卒者については62.5%であり、既卒者の国試不合格者に対するフォローアップの強化を図り、既卒者における聴講生の合格率は86.7%と前年度を大きく上回った。

2020年度の臨床検査技師国家試験合格者の就職希望者に対する卒業時就職率は92.0%であるが引き続き支援を継続し100%を目指す。

(4) 関東福祉専門学校

① 入学定員の確保

新型コロナウイルス感染拡大等ある中で、対面による広報活動を縮小せざるおけない環境となり、遠隔での説明会やSNSの充実を行った。しかし、留学生の入国制限や移動制限もあり、留学生の募集は容易ではなかった。そのため、委託訓練生の積極的受け入れや社会人学生の確保にも力をいれた。結果としては前年度を上回る31名の入学者を予定。また、日本人学生の比率が高くなっている。

② 教育活動・学修成果

国家試験の合格率は2020年度、総合で23.2%、日本人学生については85.7%、留学生については11.01%であり、留学生の国家試験合格率を上げることが課題となる。

③ 日本語教育と附帯事業

関東福祉専門学校は、介護福祉科（本科）以外に実務者研修科及び各種介護職の研修事業を展開しており、緊急事態宣言等に伴い予定を下回る受講者数であったが、今後の社会情勢を踏まえ、介護職への社会人ニーズや現職のスキルアップ寄与する研修事業はより求められることが考えられ、引き続き研修事業の充実に努める。

留学生の国家試験合格率に大きくつながるのは日本語能力であり、カリキュラム事業以外に留学生を対象とした日本語授業を実施。介護福祉士に必要となる日本語を中心に支援を強化に努めた。

2. 施設等の状況

(1) 現有施設設備所在地等の説明

2021年3月31日現在

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額	摘要
埼玉県さいたま市岩槻区 東武医学技術専門学校 (岩槻キャンパス)	校地	4,495.69 m ²	163,016 千円	163,016 千円	
	校舎 (2 棟)	3,318.33 m ²	739,035 千円	242,589 千円	
埼玉県北葛飾郡杉戸町 埼玉県幸手市 (総合教育センター)	校地	3,368.74 m ²	28,514 千円	28,514 千円	現在使用していない
	校舎 (2 棟)	1,754.07 m ²	124,066 千円	86,856 千円	
	土地	2,998.08 m ²	25,286 千円	25,286 千円	
	建物 (4 棟)	2,238.81 m ²	91,771 千円	53,506 千円	
埼玉県鴻巣市 関東福祉専門学校 本館	校地	851.43 m ²	117,179 千円	117,179 千円	
	校舎	1,399.68 m ²	392,396 千円	147,687 千円	
埼玉県鴻巣市 関東福祉専門学校 2 号館	校地	665.99 m ²	46,729 千円	46,729 千円	
	校舎	575.73 m ²	111,968 千円	64,270 千円	

III. 財務の概要

1. 決算の概要 (各財務諸表は、別添参照)

(1) 収支計算書の状況

① 資金収支計算書

- ・学生生徒等納付金は第三次補正予算に比べ約40万円の増となり、大きな乖離はなかった。
- ・埼玉県補助金収入は、東武医学技術専門学校において今年度スタートした修学支援制度の入学金・授業料減免による補助金約870万円をうけた。また、関東福祉専門学校は学校法人の学校として、県運営費補助金 約230万円を受けた。
- ・人件費支出は、第三次補正予算に比べ、約500万円の減となった。
- ・経費は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、通常のエデュケーション活動及び学校運営活動が抑制されたこともあり、第三次補正予算に比べ、約1,000万円の減となった。
- ・建物関係では、東武医学技術専門学校のエアコン更新工事、関東福祉専門学校のLED更新工事やエアコン配管更新工事など学校運営に必要な支出をおこなった。
- ・機器関係の支出は、主に関東福祉専門学校の教職員パソコン及び印刷機の更新である。

② 事業活動収支計算書

- ・教育活動における収支については、資金収支科目とはほぼ同様であり、教育活動の収支差額は、第三次補正予算に対して約8,700万円の増となり△4,609,011円となった。
- ・特別収支の過年度修正額の主な内容は、東武医学技術専門学校・関東福祉専門学校の過去の償却額を学校法人会計基準に照らし合わせた結果、過年度の過不足分を修正したことによる。
- ・当年度の基本金は、関東福祉も含めて約13,471千円となり、組入後の収支差額は、約△

54,001千円となり、前年度繰り越し分を含めた翌年度繰越収支差額は、約△600,065千円となった。

(2) 貸借対照表の状況

流動資産が42,322千円の増となったが、固定資産は約70,529千円の減となったため、資産の総額は前年度に比べ約401,116千円の増となった。負債においては、負債の総額は約12,323万円の増となった。

翌年度繰越支出超過額は、54,001,542円の増加となり、△600,065,879円となった。

IV. 今後の課題

1. 学生関係

- (1) 新入学生の確保
- (2) 留年、休学の対応
- (3) 卒業率及び国家試験合格率の向上
- (4) 国試不合格者の対応

2. 関東福祉専門学校の収益確保

- ・各種研修の整備及びPR活動の強化
- ・産学連携による介護人材教育支援等